

2021年10月20日

新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、この度、下記の検査項目を新たに受託開始させていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。

今後も弊社では皆様方のご要望にお応えできるよう、検査内容を充実させて参りますので、何卒お引き立ての程、宜しく願い申し上げます。

敬白

記

【新規受託項目】

検査項目名	特異的IgE Asp f 1(アスペルギルス由来)
コード No.	(新システム) 13668 / (従来システム) 6103
検体量	血清 0.3mL
採取容器	B (汎用容器)
保存方法	冷蔵
検査方法	FEIA
基準範囲	0.34以下 UA/mL (クラス 0)
所要日数	3~4日
検査実施料/判断料	110点 / 免疫学的検査 144点

Asp f 1 はアスペルギルスのアレルゲンコンポーネントの 1 つであり、アレルギー性気管支肺アスペルギルス症 (ABPA) の発症原因真菌であるアスペルギルス・フミガーツス (*Aspergillus fumigatus*) の主要アレルゲンです。

ABPA は成人喘息患者あるいは嚢胞性線維症患者の気道に発芽・腐生したアスペルギルスが気道内でアレルギー反応を誘発して発症する慢性気道疾患です。その診断は、注意深い経過観察に従って取得した複数所見の診断基準への適合をもとに進められるため容易でなく、数年以上かかることもあると言われてています。

Asp f 1 は ABPA の診断補助において、現行のアスペルギルス粗抽出抗原を用いた特異的 IgE 測定に比べ臨床的特異度に優れるため、アスペルギルスに感作された喘息の中の ABPA の鑑別に有用であると考えられます。

《参考文献》 アレルギー性気管支肺真菌症研究班:アレルギー性気管支肺真菌症の診療の手引き 2019.(医学書院)

【開始時期】 2021年10月25日(月) ご依頼分より

以上

尚、詳細につきましては、営業担当者またはインフォメーションまでお問い合わせ下さい。